

学校目標・経営方針	「心に灯をともし」教育の実現
-----------	----------------

本年度の重点目標	深い学び、対話的な学び、主体的な学びへ、授業を改善する
	総学・課題研究・探求サブリをはじめとする探究活動・体験活動を充実させる
	教科内での指導法等情報交換の促進と個別指導を充実させる

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標		年度末評価(3月31日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	深い学び、対話的な学び、主体的な学びへと、授業を改善する	授業の工夫・改善とその実践のための研修会や相互授業参観の実施、教科内での指導法に関する情報交換及び教材の共有化等の促進 レポート・プレゼン・発表会など、学習内容の定着と「考える力・表現力」の育成を重視した授業及び総合的な学習の時間の充実 言語活動・言語技術の向上と自ら考えるための課題研究・小論文指導の充実	授業アンケート、各教科の反省 レポート・プレゼン、発表会の方法・内容の評価(アンケート等) 指導の方法の研修会での検証、アンケート
2	総学・課題研究・探求サブリをはじめとする「探究活動・体験活動」を充実させる	総合的な学習の時間やLHRを使って、自分の学習を見直し、今後の学習について考える取り組みの実施 3年間を見通した総合的な学習の時間の再構築 キャリア教育推進のためのミニ大学、職業人講話等の継続・発展	教員・生徒アンケート、各学年の反省 活動実践報告、生徒アンケート 教員・生徒アンケート、計画・実施についての検証
3	教科内での指導法等、情報交換と共通化の促進と、個別指導を充実させる	情報交換の場としての、教科会議の充実 授業の工夫・改善とその実践のための研修会や相互授業参観の実施、教科内での指導法に関する情報交換及び教材の共有化等の促進(再掲) 小論文指導・自由英作文指導・面接指導・補充学習等の個別指導の充実及び、個に応じた課題の提示についての工夫	教員アンケート 会議録の作成・報告 授業アンケート、各教科の反省 生徒アンケート
4			
5			
6			
7			

学校関係者評価	
実施日(令和2年2月14日)	
評価	意見・要望等
3	今後は、継続性をもって積み重ねていくための具体的な方策を考えると、同時に、全ての教職員・生徒が、毎時間の授業の中で目標を意識しながら取り組んでいけるような工夫や取組を具体化していくことが大切になってくるはず。そうした際のキーワードとして、私は「学び合い」が意識できたらと考えています。授業参観では、教師が喋る時間の多い「教授型」の授業が、まだまだ多かったと感じました。55分の中の何分間を生徒同士が「互いに学び合う」ような時間、教師の問いかけが答えを求めるのではなく、発想を引き出したり思考を深めたりするようにかえていこうとする努力を引き続き行っていくことが必要だと感じています。
3	・「心に灯をともし」教育の実現・主体的に行動する生徒の育成」は素晴らしい。これからの時代は発想と行動力が問われるので、この指針を強固に押し進めるとが特色になると思う。 ・就職時の面接は学力ばかりではなく、リーダーシップが発揮できる人材であるか、考え方はどうか、も重要なファクターになります。ぜひ、明るく元気な生徒を多く作り上げて下さい。期待しています。 ・東高校生徒のボランティア参加等の評判をたびたび耳にする。人としての成長は勉強だけでなく、地域住民との協働からも学べることは大きい。進学校だからこそ「For you」でなく「By you」のボランティアを継続して欲しい。
3	・「心の教育」を推進してほしい。「地域との連携」で大切なのは、学校が地域に出て行くこと、地域の人材や資源を学校教育の中に生かそうとすることだと思います。今後はこれまで以上に、生徒にどんな生き方を示すのか、社会や地域をどのように意識させたり考えさせたりするのかという教育が求められてくると思っています。 ・授業の進め方については、学校の外から見ている立場としては「日々進化」しているのだと授業参観等で強く感じました。 ・能力の高い生徒を預かる高校として、一人一人の希望とニーズに沿えるような、指導と支援をぜひお願いしたいです。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。